

2: 急性骨髄性白血病(AML)【成人】

1. WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 高見 昭良	愛知医科大学内科学講座	血液内科
今橋 伸彦	名古屋大学大学院医学系研究科	血液・腫瘍内科学
小澤 幸泰	名古屋第一赤十字病院	血液内科
加藤 淳	慶應義塾大学病院	血液内科
金森 平和	(独)神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター	血液内科
黒澤 彩子	国立がん研究センター 中央病院	造血幹細胞移植科
鋤塚 八千代	名古屋大学医学部附属病院	先端医療・臨床研究支援センター
澤 正史	安城更生病院	血液・腫瘍内科
瀬尾 幸子	Fred Hutchinson CRC	Infectious Disease Division
高木 伸介	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
田口 潤	長崎大学病院	血液内科(原研内科)
田中 正嗣	公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター	血液内科
藤田 浩之	済生会横浜市南部病院	血液内科
増岡 和宏	国家公務員共済組合連合会 三宿病院	血液内科
増子 正義	新潟大学医歯学総合病院	高密度無菌治療部・血液内科
矢野 真吾	東京慈恵会医科大学附属病院	腫瘍・血液内科
山下 卓也	国立がん研究センター 中央病院	造血幹細胞移植科
横山 寿行	独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター	血液内科
横山 洋紀	東京慈恵会医科大学附属病院	腫瘍・血液内科
吉原 哲	兵庫医科大学病院	血液内科
石山 謙	金沢大学附属病院	血液内科
臼杵 憲祐	NTT 東日本関東病院	血液内科
太田 秀一	札幌北楡病院	内科
高田 覚	群馬県済生会前橋病院	血液内科
宮本 敏浩	九州大学病院	血液腫瘍内科
近藤 忠一	京都大学医学部附属病院	血液・腫瘍内科
杉田 純一	北海道大学病院	血液内科
町田 真一郎	東海大学医学部付属病院	血液腫瘍内科
青木 淳	(独)神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター	血液内科
森 甚一	東京大学医科学研究所	ヒトゲノム解析センター
大中 貴史	小倉記念病院	血液内科
後藤 守孝	東京医科大学病院	血液内科
小沼 貴晶	東京大学医科学研究所附属病院	造血細胞移植チーム
土岐 典子	がん・感染症センター 都立駒込病院	血液内科

青木 一成	京都大学大学院医学研究科	血液・腫瘍内科学
杉盛 千春	石川県立中央病院	血液内科
立花 崇孝	横浜市立大学附属病院	リウマチ・血液・感染症内科
山崎 聡	独立行政法人国立病院機構 九州医療センター	血液内科
新井 康之	京都大学医学部附属病院	血液・腫瘍内科
水谷 元紀	愛知医科大学病院 内科学講座	血液内科

2. 承認研究の進捗状況(2014年1月-12月 ※JSHCT2015を含む)

2-1	「AML患者に対する RIST の有用性に関する研究-骨髄移植と末梢血幹細胞移植の比較-」 PI:青木淳
学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照) 論文業績:	
2-2	「フィラデルフィア染色体陰性骨髄増殖性腫瘍から発展した二次性急性骨髄性白血病に対する同種造血幹細胞移植の解析」 PI:高木伸介
学会発表: Takagi S, Masuoka K, Uchida N, Kurokawa M, Nakamae H, Tsudo M, Iwato K, Ichinohe T, Atsuta Y, Takami A. Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation for Patients with Acute Myeloid Leukemia Transformed from Ph-Negative Myeloproliferative Neoplasm: A Study from the Adult AML Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation (JSHCT)2014. 56th ASH Annual Meeting, San Francisco, Dec 6-9, 2014.	
論文業績:	
2-3	「成人 AML に対して iv Busulfan を用いた移植前治療による自家造血幹細胞移植の治療成績」 PI:山下卓也
学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照) 論文業績:	
2-4	「成人 AML に対して iv Busulfan を用いた移植前治療による同種造血幹細胞移植の治療成績」 PI:山下卓也
学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照) 論文業績:	
2-5	「初回寛解導入不応・再発非寛解期の急性骨髄性白血病に対する同種移植の予後解析」 PI:横山洋紀
学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照) 論文業績:	
2-6	「各染色体分類における急性骨髄性白血病に対する同種移植の予後の比較」 PI:横山洋紀
学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照) 論文業績:	
2-7	「急性骨髄性白血病に対する同種造血幹細胞移植後の再発リスク因子解析」 PI:矢野真吾
学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照) 論文業績:	
2-8	「AML 移植後再発に対する DLI の有用性と予後予測因子の解析」 PI:高見昭良
学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照)	
論文業績: Takami A, Yano S, Yokoyama H, Kuwatsuka Y, Yamaguchi T, Kanda Y, Morishima Y, Fukuda T, Miyazaki Y, Nakamae H, Tanaka J, Atsuta Y, Kanamori H. Donor lymphocyte infusion for the treatment of relapsed acute myeloid leukemia after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation: a retrospective analysis by the Adult Acute Myeloid Leukemia Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation. <i>Biol Blood Marrow Transplant.</i> 2014;20(11):1785-90.	
2-10	「AML に対する緩和的前処置移植における低用量 TBI の必要性」 PI:青木淳
学会発表: Aoki J, Seo S, Tanaka M, Kanamori H, Fukuda T, Kobayashi N, Onizuka M, Ichinohe T, Atsuta Y, Takami A. Impact of Low-Dose TBI on Outcome of Reduced Intensity Allogeneic Hematopoietic Stem Cell	

Transplantation from HLA Identical Sibling for Acute Myeloid Leukemia 2014. 56th ASH Annual Meeting, San Francisco, Dec 6-9, 2014.	
論文業績:	
2-11	「第一寛解期 AML に対する自家造血幹細胞移植の有用性と予後予測因子の解析 (HLA 一致同胞からの同種移植成績との比較)」 PI: 水谷元紀
学会発表: Mizutani M, Hara M, Fujita H, Aoki J, Kanamori H, Machida S, Yamasaki S, Ohashi K, Usuki K, Fukuda T, Chou T, Tanaka J, Atsuta Y, Takami A. Comparable Leukemia-Free Survival after Autologous Hematopoietic Cell Transplantation Versus HLA-Identical Sibling Hematopoietic Cell Transplantation for Adult Acute Myeloid Leukemia in First Complete Remission: A Registry Study By the Adult AML Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation 2014. 56th ASH Annual Meeting, San Francisco, Dec 6-9, 2014.	
論文業績:	
2-12	「AML-M6/M7 に対する造血幹細胞移植」 PI: 石山謙
学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照) 論文業績: 投稿中	
2-13	「予後不良染色体異常 (3 番染色体、5 番染色体、7 番染色体、11 番染色体の異常、複雑核型) を有する骨髄系腫瘍 (AML および MDS) 症例の移植成績」 PI: 増子正義
学会発表: 論文業績:	
2-14	「AML における MPO 陽性芽球比率が同種造血幹細胞移植成績に与える影響についての解析」 PI: 田口潤
学会発表: 論文業績:	
2-15	「多系統の形態異常を伴う AML (WHO 分類) における同種造血幹細胞移植についての解析」 PI: 田口潤
学会発表: 論文業績:	
2-20	「biphenotypic acute leukemia に対する造血幹細胞移植の成績」 PI: 森甚一
学会発表: 論文業績:	
2-21	「成人 AML に対する同種造血幹細胞移植における細胞遺伝学的リスク層別化システム (Cytogenetic Risk Stratification System : CRSS) の開発」 PI: 山下卓也
学会発表: 第 37 回日本造血細胞移植学会総会 (平成 27 年 3 月 5 日-7 日)、神戸	
論文業績:	
2-22	「中枢神経浸潤を伴った急性骨髄性白血病に対する造血細胞移植」 PI: 青木淳
学会発表: Aoki J, Ishiyama K, Taniguchi S, Fukuda T, Ohashi K, Ogawa H, Morisima Y, Nagamura T, Atsuta Y, Sakamaki H, Tkami A. Outcome of Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation for Acute Myeloid Leukemia Patients with Central Nervous System Involvement. <i>Biology of Blood and Marrow Transplant.</i> 20(2):S67-S8. 2014 BMT Tandem Meetings, Grapevine, Feb 26-Mar 2, 2014.	
論文業績: Aoki J, Ishiyama K, Taniguchi S, Fukuda T, Ohashi K, Ogawa H, Kanamori H, Eto T, Iwato K, Sakamaki H, Morishima Y, Nagamura T, Atsuta Y, Takami A. Outcome of allogeneic hematopoietic stem cell transplantation for acute myeloid leukemia patients with central nervous system involvement. <i>Biol Blood Marrow Transplant.</i> 2014;20(12):2029-33.	
2-23	「成人 AML に対する iv Busulfan を用いた骨髄破壊的移植前治療による同種造血幹細胞移植の治療成績」 PI: 山下卓也

学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照)		論文業績:
2-24	「成人 AML に対する iv Busulfan を用いた骨髄非破壊的移植前治療による同種造血幹細胞移植の治療成績」 PI: 山下卓也	
学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照)		論文業績:
2-25	「患者背景因子による高齢者急性骨髄性白血病に対する同種造血幹細胞移植の適応に関する検討」 PI: 山崎聡	
学会発表:		論文業績:
2-27	「亜ヒ酸の臨床導入後における再発 APL に対する自家移植の成績」 PI: 高見昭良	
学会発表:		論文業績:

3. 会議開催記録 (2014 年 1 月-12 月)

日時	場所	会議内容
2014 年 1 月 12 日	国立がん研究センター	研究内容・研究進捗状況・解析方法の確認と相談、WG 発表会の準備
2014 年 7 月 6 日	名古屋第一赤十字病院	研究内容・研究進捗状況・解析方法の確認と相談

4. メーリングリストによる意見交換 (メーリングリスト開設から 2014 年 12 月末時点まで) (757)回

5. WG の今後の活動方針・抱負など

成人急性骨髄性白血病 (AML) への造血細胞移植の標準化、未解決課題の克服を目標に、臨床に直結した研究を行っています。新メンバーも増え、新規研究課題にも取り組んでいます。生物統計専門家より適切な助言をいただき、高精度の研究成果発信に努めています。ワーキンググループ全体で切磋琢磨を重ね、学会・論文発表も増えてきました。造血細胞移植学会と会員のたゆまぬ努力に基づく一元化データを臨床に役立つエビデンスへ発展させるため、今後も粉砕の姿勢でのぞみます。